

2011年3月15日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

「ひふみ投信」の3月15日の基準価額下落について

本日の株式市場は福島原発で放射能漏えいのニュースもあり、パニック的な売りがありました。本日も大きな下落に見舞われ、日経平均株価(−10.55%)もTOPIX(−9.47%)も史上3番目となる下落率となりました。それに伴い、ひふみ投信も本日は前日比で−7.81%と大きく基準価額を下げているのでご報告いたします。

2月末までの3ヶ月間で15%超の上昇を続けていたひふみ投信ですが、その牽引役となっていたのが、東証マザーズや大証、JASDAQ、東証二部に上場している新興企業銘柄や、東証一部の中でも比較的時価総額の小さな銘柄です。しかしながら、短期間で上昇した分、今回の株式市場下落により最も売られたのがそれらの銘柄です。ひふみ投信もその影響を少なからずとも受けています。

今は、市場がパニックになっている時ほどよい企業に驚くべき割安な価格で投資できるチャンスだと捉え、また、昨日の時点で、ひふみ投信のポートフォリオにおける現金の比率も20%弱となっていたので、それを使って少しずつ株式の比率を高めて行きたいと考えています。

株式市場の水準は2008年10月のリーマンショック時に近いところまで下がってきましたが、ここから更にさがっていく場合はさらに買いをいれていく予定です。

レオス・キャピタルワークス株式会社
ひふみ投信運用責任者
藤野 英人

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

- ・ 本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません
- ・ 本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会